

七尾の林業を より充実せよ！

佐藤議員 世界農業遺産の能登の里山里海でも豊かな水産資源を守るうえで山林の伐採は必要。鳥獣被害を減少させる意味でも、今後の対策をどう考えているのか。

不嶋市長 間伐によって森を守ることは、豊かな海を守ることに必要。鳥獣被害防止にも有効である。平成22、26年で市内約365ヘクタールの山林間伐を実施。今後も森林組合や山林所有者の協力を得ながら間伐を実施し、山林保全に努める。

佐藤議員 林業従事者が減っているなか、近年若年層の従事者が増えている。今後の人材育成についての考えを伺う。また、七尾市では七尾産材を使った住宅助成を実施しているが、さらなる利用拡大に向けてどのような取り組みを行っているのか。

不嶋市長 県や森林組合と協働して、間伐から撤出作業まで効率的に実施できる研修などを行い、現地で即戦力になる人材育成を行った。1軒につき10万円の補助をしていく。七尾中学校や観光交流センター(仮)などにも七尾産材を使う予定。今後もホームページや独自のパンフレットなどで広く周知を図って、利用促進に繋げていく。



積み上げた木材

その他の質問項目
■地方創生 ■地域医療
■人口減少社会における産業の現状と今後

代表質問(市民クラブ) 林業振興について

早急に消防救急体制を 充実せよ！

石川議員 高齢化の進行などにより、救急需要の対応、救急体制の強化をこれまで以上に推進していく必要がある。また、七尾市は年間380万人の交流人口があり、中でも和倉温泉には年間80万人もの宿泊客がいる。その和倉温泉を含め石崎、奥原、田鶴浜地区内に位置する和倉分署と田鶴浜分署には、救急車が1台も配置されていない。地域住民の生命を守るうえで、より充実した救急体制の確保は喫緊の課題である。今後の消防、救急体制の確立を図るためにも常時1名体制の田鶴浜分署のあり方や和倉分署との連携について消防救急体制の再構築が必要であると考えるが、どのような方針と整備計画で進めていくのか。

不嶋市長 平成26年中の救急出動は過去最高。また能越自動車七尾水見道路や北陸新幹線金沢開業により、これまで以上に多くの方が七尾を訪れると想定される。このことを踏まえ、石崎、和倉、田鶴浜地区の消防救急体制を一体的なものとして確保し、その強化、充実を図っていくことは大きなこと。消防本部に対しては、急増する救急出動や道路の整備状況などを踏まえて、消防救急体制を充実させ、分署、分署所の再編も含めて早急に実現するよう進めていく。



消防本部の消防・救急車両

代表質問(等政会) 消防行政について

産業間の連携を作り 上げることが重要！

杉木議員 今年七尾湾で獲れるブリなどは漁獲量が少なく、漁業経営が不安定だったと聞いている。その一方で、鹿渡島定置が魚の鮮度を長くする神経締め技法や水産物を加工して付加価値を付けたことなどで経営の安定と雇用が生まれていく。このように漁業関係者が加工・飲食業者などと連携して資源の開発や商品開発の取り組みが必要だと思いが、これまで七尾市の水産物の6次産業化の取り組みや支援は、どのように行ってきたのか。また、七尾市産業振興プランの基幹産業である水産業と他産業の連携について、今後どのように進めていくのか。

不嶋市長 これまでの支援で、鹿渡島定置をはじめ、能登ふぐ組合は様々な業種の企業と参画してビジネスを始めた。能登かき振興会ではかき殻のリサイクル施設を整備し、かき殻の商品化にも取り組んだりしている。このような取り組みが新たな産業を創出する。今後も連携して、1次産業の6次産業化に取り組む。

地域産業プランでは、水産業と他産業が連携して、1次加工施設の整備を今後進める予定。また、飲食業との情報の共有化も図っていく予定。市としては、水産業と飲食業、観光業などの他産業と連携を一層深め、水産関係者の所得向上や水産加工による雇用の創出などに取り組む。



1次産業(漁業)

その他の質問項目
■七尾線の利用促進 ■子育て支援施設
■道路整備

代表質問(灘会) 水産業の6次産業化について

訪問看護でも質の高い 看護ケアを！

荒川議員 病院改革プランにおける第4次経営改革シナリオで、来年度から新しい事業として訪問看護ステーションを新たに設置する計画がある。①このステーションの在り方について②ステーションの規模や人材活用をどうするか③ステーションの多機能化について④ステーションと行政との連携をどう図るのか伺う。

吉村病院事業管理者 ①この地域では、在宅医療を24時間対応できる開業医が少なく、当院は人工呼吸を装着した患者などを対象に、少人数の訪問看護チームで対応してきた。近年、高齢化に伴い、病気が治っても元の自宅での生活に戻れず、新たに介護を必要とする人も増え、退院後の支援体制を強化する必要があった。また、施設に入らず自宅で生活を希望する患者も多いため、訪問看護ステーションを立ち上げる事にした。②管理者1名、一般4名、精神3名の看護師を配置し、100名程度の患者を想定。③訪問看護師は現在の担当のままで、がん末期患者など医療依存度の高い患者を主に診ていく方針。また、一般と精神の訪問看護を一体化して効率化を図り、緩和ケア認定看護師なども同行して、質の高い看護ケアを提供していく。④地域では、七尾や中能登の訪問看護ステーションなどがあり、ともに人材育成や交流を図り、行政と連携しながら地域住民が安心して生活できるよう対応していきたい。

その他の質問項目
■地方創生 ■県水責任水量引き下げ
■東京五輪 ■博物館基本計画 ■七尾城



公立能登総合病院

※訪問看護ステーション…自宅で療養される患者に質の高い看護サービスを提供する訪問サービス機関

代表質問(礎)

訪問看護ステーション設置について(公立能登総合病院)

一般質問 地域経済対策について

よりよい地域経済の 取り組みをせよ！

木下議員 七尾市の地域経済において、現状の分析をどのようにしているのか。また、地域産業振興プランに従い、持続可能な地域経済の実現に向け、産学官連携で観光、医療、食品加工の分野での具現化に取り組むうえでの具体策について伺う。

不嶋市長 七尾商工会議所では、3月の景気動向の見直しから、経営利益など全てにおいて悪化、中小企業の経営も厳しい状況との見解。一方で、七尾中能登の有効求人倍率は過去3年間で1.5倍前後を推移しながら高い水準を維持し、雇用情勢は安定している様子。

小川産業部長 昨年、産学官で協力して七尾市産業地域活性化懇話会を立ち上げ、域内産業を活性化させるための分科会を設けた。海産分科会では、能登島をモデル地区とし、修学旅行の体験メニューなどの充実を図り、さらなる活性化を目指す。また、地熱資源の利活用分科会では、民間事業者が温泉熱を活用した農業利用に意欲をみせ、今後の事業化に期待。次年度以降も地域産業振興プランのさらなる具現化を目指す。木下議員 経済波及効果を生むと思われ、プレミアム付き商品券の発行の狙いと効果について伺う。

小川産業部長 この事業は、地域の消費喚起と生活支援を促す目的で、希望する地方自治体に対して交付金を配分。この事業により、市内の消費が促され、域内でお金が回り、より経済循環が進むと考えている。



七尾商工会議所

その他の質問項目
■(仮称)観光交流センター

一般質問 交通安全対策について

市内の交通安全対策の 充実を図れ！

高僧議員 能越自動車道七尾水見道路や国道159号線のバイパスの完成とともに、のと里山海道への利便性が良くなった。しかし、最近市内で交通事故が多発している。全国的にも通学路で起きた痛ましい事故もある。そこで交通安全対策についての考えを伺う。また、公立能登総合病院の入り口周辺道路は朝夕大混雑している。病院には駐車スペース915台のほか、バスやタクシーなど1,000台近くの進入車両があり、大変危険度が高い。事故防止および渋滞解消の観点から、信号機の設置をお願いしたい。

登美市民生活部長 能越自動車道七尾水見道路の供用開始や北陸新幹線開業などによって誘客効果が確実に高まる一方で、中心市街地では事故や渋滞が危惧され、交通安全対策は大変重要な課題。約5年ごとに実施している道路交通量調査で幹線道路の混雑状況も明らかになってきた。それを踏まえ、国・県・市の道路管理者と警察などが連携を密にして、交通安全対策の協議をしっかりと行い対応していく。また、公立能登総合病院前の信号機設置について、県の公安委員会が総合的に判断して設置する予定。当市は、警察と道路管理者が協議し、県公安委員会へ早急に設置する旨を上申したと聞いている。なお、現在は、交差点に「横断歩道あり」歩行注意の立て看板を設置して、注意喚起している。



公立能登総合病院前の交差点

その他の質問項目
■福祉関連 ■公園整備 ■上水道事業